



日本国憲法 教育基本法 学校教育法
第4期教育振興基本計画 学習指導要領

学校教育目標
かしこく、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成

山梨の教育振興基本計画（2024～2028年）
山梨県学校教育指導重点 2024年度
甲府市学校教育指導重点 2024年度

めざす学校像
「児童が学びたい、保護者が通わせたい、
教師が勤めたい、地域が応援したい学校」
・落ち着いた日常生活を営める学校
・知・徳・体の調和のとれた教育を推進する学校
・小中連携し、地域に根ざし、地域から信頼される
特色ある学校

めざす児童像
(かしこく)
・自ら考え、互いに学び合う子ども
(心豊かに)
・思いやる心を持ち、協力しあう子ども
(たくましく)
・心も体も健康で、明るく、元気な子ども

めざす教師像
・生涯に渡り、学び続ける教師
・人間性豊かで、信頼される教師
・研鑽を積み、指導力の優れた教師
・使命感に溢れ、仲間と協働する教師

学校運営協議会～保護者や地域と共にある学校づくり

研究主題
「自ら考え、互いに学び合う子どもの育成」
～個別最適な学び・協働的な学びの実現を目指して～

【A 自ら学ぶ力の育成】
＜学習指導の工夫改善と校内研修の充実＞
・基礎的・基本的な内容の確実な定着と個別最適な学びと協働的な学びを一体化させる授業の工夫・改善に取り組む。（わかる授業・楽しい授業の実践）
・学習規律の確立を図る。
・新やまなしスタンダード（授業づくりの視点）、甲府スタイルの授業（こうふのたから）、新紺屋スタンダードを意識した取組を行う。
・家庭学習の習慣化に取り組む。
・地域の特色を生かし、郷土学習の推進を図る。
・チームとして同じ課題を共有し、学力向上に取り組む。



【B 豊かな心の育成】
＜みんなで育てる生徒指導と心の教育の充実＞
・特別の教科道徳の指導の充実を図る。
・人間関係づくりを推進する教育の充実に努める。
・安心できる居場所づくりと絆づくりに努める。（笑顔が溢れる教室）
・児童実態の把握に努め、情報を共有化する。
・朝読書や読み聞かせなどの読書活動を推進する。
・あいさつ運動を推進する。
・子どもの良さや可能性を伸ばすために、特別支援教育
・通級指導教室との一体的な指導の充実に努める。



【C 健康でたくましい児童の育成】
＜健康・安全教育の充実＞
・安全な学校生活を送るための啓発に努める。
・健康、安全に関する学習環境づくりに努める。（笑顔と元気に飛び交う歓声のある日常）
・体力テストの結果を分析し、運動やスポーツを積極的に推進し、運動の日常化を図り、体力の向上を図る。（R4・5校内研究の継続的な取組）
・「食育」を充実させ、食の安全を図っていく。
・地域環境にあった防災教育や安全教育の徹底を図る。
・安全管理体制の確立
・地域ぐるみでの安全確保



【D 地域と連携した教育の推進】
＜信頼される学校づくり＞
・学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。
・学校運営協議会などを通じ、地域・保護者からの意見や情報を積極的に得る工夫をすると共に、学校評価を通じ、教育活動に対する理解と協力を得る。
・地域・保護者の教育力を積極的に活用し、地域の中の学校づくりを目指す。（笑顔溢れる交流）
・通級指導教室による早期からの教育的支援を充実させる。



具体的な取組

・主体的・対話的で深い学びの充実
・読み・書き・計算の確実な定着を図る。
・体験学習の充実
・個別最適な学びと協働的な学びの充実に向け、ICT機器を有効に活用した授業づくり
・児童の学習意欲の向上に向け、教材研究を充実させる。
・子どもの視点に立った見通しと振り返りの実施。
・家庭学習シート、自主学習ノートの取組の推進を図る。
・地域素材の教材化や地域人材の活用
・「キャリアパスポート」の活用とキャリア教育の充実
・教職大学院協力校としての利点を生かし、校内研修を充実させる。

・多様化する考えを認め合う雰囲気づくりを大切に、自他を尊重する心の育成に向けた道徳授業（議論する道徳）を実践する。
・学級での話し合い活動や集団活動を充実させ、友人関係を豊かにし、安心して何でも話せる学級づくりを目指す。
・報告・連絡・相談を密にし日常的に児童の実態把握に努めると共に、校内支援委員会の積極的活用
・朝読書や読み聞かせなど読書活動の推進
・人のつながりを大切にして、あいさつ運動を進める。
・特別支援教育の理解と通級指導教室との連携指導
・スクールカウンセラーの積極的活用

・健康増進三要素の取組を推進する。（体力の向上、規則正しい生活習慣、バランスの良い食事）
・年間を通して、計画的に体力づくりを推進する。
・元気アップ事業の取組を継続する。
・ICT機器（ケータイ等含む）を使用する際の危険性や道徳性、責任等について徹底指導する。
・学級と保健室の連携を密にする。
・食物アレルギーなどの情報を全職員で共通確認する。
・課題の見える防災訓練を実施する。
・安全計画やマニュアルの改善と充実を徹底する。
・保護者や地域との情報共有を大切にする。

・学校でのようすを学年通信、学校だより、HP等で発信する。
・保護者や地域住民の意見を聞く機会を増やし、学校改善を行っていく。
・学区の小中学校の連携を、更に進めていく。
・地域行事への積極的参加を促す。
・地域素材の教材化と地域人材を有効に活用していく。
・通級指導教室への通級児童在籍校との連携を図る。
・教育相談の実施等、地域のセンター的機能の充実を図る。